

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

Open Doorのもと、誰も突破できていない障壁のある分野で事業機会を創造し、産業構造を変え、あるべき社会を実現する

国際通信キャリア順位
3番目

PDSCN完成
2023年12月

② 中長期の経営戦略

1. 国際通信事業の拡大

C2C回線とPDSCNの完成によるフィリピン国内基幹網整備。キャリアズキャリアポジション確立と通信事業者向け販売拡大

3. 国内通信事業の強化

2022年7月設立の株式会社アイ・ピー・エス・プロでコールセンターソリューション拡充。SNS・AI活用の包括的ソリューション提供

2. 5G無線ブロードバンド展開

1.5GHz、3.7GHz、24GHzの周波数帯で5G無線ブロードバンドサービスの実用化に向けた実証実験推進

4. メディカル事業の多角化

SLACCでのレーシック手術継続と、SDPCCによる予防医療分野への進出。2023年5月から人間ドック・健診センター運営開始

③ 対処すべき課題

① フィリピン国内基幹網の整備

- ・ PDSCN完成後の陸上回線敷設とミンダナオ島など新規エリアへの展開
- ・ 通信需要把握と大口顧客開拓による提供先拡大
- ・ 安定的な国際通信回線確保のための新規回線取得

② 競争環境への対応

- ・ 外資規制除外に伴う新規参入競合企業への対策強化
- ・ レーシック事業での競争激化対策と新マーケティング手法実施
- ・ 将来の事業拡大に向けた人材・資金・リソース確保

③ デジタル化対応の推進

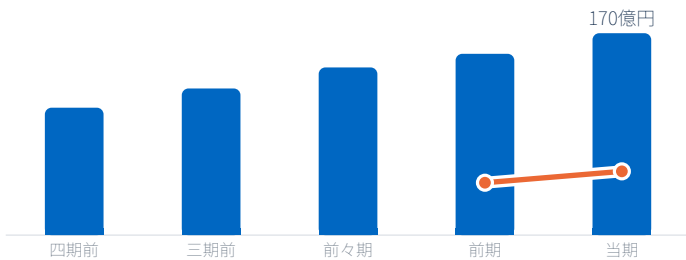
- ・ 在宅勤務など多様な就業形態広がりに対応したレジデンシャル向けサービス強化
- ・ コールセンター事業者の多様なニーズに対応した包括的ソリューション展開

面接で使えるポイント

- ・ フィリピン国家通信委員会から1.5GHz周波数帯割当を受け、5G無線ブロードバンド実用化を目指す事業方針
- ・ 2023年12月完成したPDSCN中心に、ルソン島・ビサヤ諸島・ミンダナオ島結ぶ国内基幹網構築推進中
- ・ 2022年7月設立の株式会社アイ・ピー・エス・プロで、意思決定迅速化と機動的運営による事業スピード化実現

証券コード 4390

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
170億円営業利益率
31.6%財務健康度
55点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 54.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,000万円

情報・通信業内 29位/592社

平均年齢
42.4歳

情報・通信業内 98位/593社

平均勤続
6.2年

情報・通信業内 308位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)アイ・ピー・エス【4390】：決算情報

